



I 第19週の発生動向 (2019/5/6~2019/5/12)

1. 伝染性紅斑については、弘前保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。

II 第19週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	14	1.08	18	1.20	19	1.27	4	0.57	11	1.22	5	0.83	71	1.09	-46
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13	1	0.11			1	0.20	1	0.17			4	0.10	0
	咽頭結膜熱	1	0.13	5	0.56	1	0.10			2	0.33			9	0.21	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	9	1.13	11	1.22	21	2.10	3	0.60	10	1.67	1	0.25	55	1.31	35
	感染性胃腸炎	41	5.13	19	2.11	37	3.70	28	5.60	21	3.50	24	6.00	170	4.05	119
	水痘	1	0.13	4	0.44	4	0.40	2	0.40	3	0.50			14	0.33	8
	手足口病					1	0.10	1	0.20	3	0.50			5	0.12	-11
	伝染性紅斑			15	1.67			4	0.80	19	3.17	1	0.25	39	0.93	19
	突発性発しん	2	0.25	1	0.11	9	0.90	2	0.40	2	0.33	2	0.50	18	0.43	11
	ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎			2	0.22	7	0.70	1	0.20	3	0.50			13	0.31	8	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	3	1.50			2	1.00							5	0.45	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)											1	1.00	1	0.17	-5
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	0
	無菌性髄膜炎															0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

クロイツフェルト・ヤコブ病 (五類全数把握対象疾患)

クロイツフェルト・ヤコブ病 (Creutzfeldt - Jakob disease, 以下 CJD) は、神経難病のひとつで、抑うつ、不安などの精神症状で始まり、進行性認知症、運動失調等を呈し、発症から1~2年で全身衰弱・呼吸不全・肺炎などで死亡します。

原因は、細菌やウイルスと異なり、核酸を持たない感染性を有する異常プリオン蛋白と考えられています。

日本では、年間人口100万人当たり1人前後の割合で発症し、例年140~200人程度報告され、青森県では例年0~4人報告されています(図)。

CJD患者の約8割が原因不明で発症する孤発性CJDであり、他に遺伝が関与する家族性CJDや牛の海綿状脳症(BSE)との関連性が示唆されている変異型CJDがあります。

根本的な治療法やワクチンなどは現在のところなく、対症療法が主体となります。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [クロイツフェルト・ヤコブ病とは\(国立感染症研究所HP\)](#)

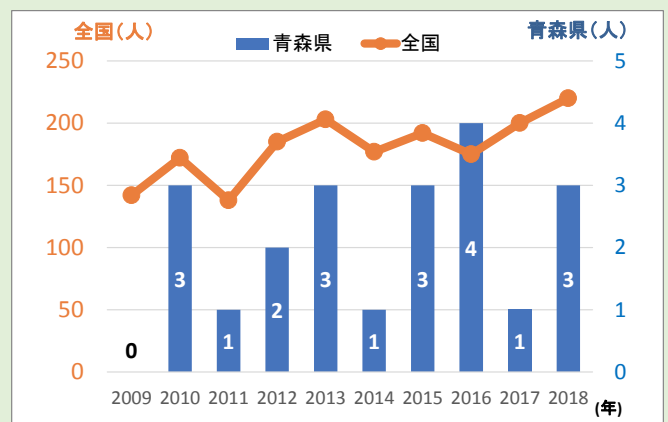


図: 青森県と全国におけるクロイツフェルト・ヤコブ病患者報告数 (2009年~2018年)

CJDとは



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前2人、八戸市2人、五所川原1人、上十三1人（2019年計：88人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：9人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：10人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2019年第12週～第19週）

- ・第19週の患者報告数は71人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは70人【A型：53人、B型：17人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	83	38	44	42	31	33	32	14
弘前	63	43	42	51	36	19	9	18
三戸地方+八戸市	53	55	37	29	49	52	6	19
五所川原	96	74	59	36	27	32	12	4
上十三	50	80	33	22	30	40	35	11
むつ	273	56	111	97	44	24	23	5
合計	618	346	326	277	217	200	117	71

A型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	81	38	44	41	30	32	29	11
弘前	63	43	41	51	36	19	8	13
三戸地方+八戸市	53	54	35	26	38	31	4	16
五所川原	95	72	58	36	27	28	8	2
上十三	46	72	29	15	15	27	18	10
むつ	258	48	110	94	44	23	14	1
合計	596	327	317	263	190	160	81	53

B型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	2			1	1	1	3	3
弘前			1				1	5
三戸地方+八戸市		1	2	3	10	21	2	2
五所川原						1	4	2
上十三		2	1	5	14	11	12	1
むつ		1					9	4
合計	2	4	4	9	25	34	31	17

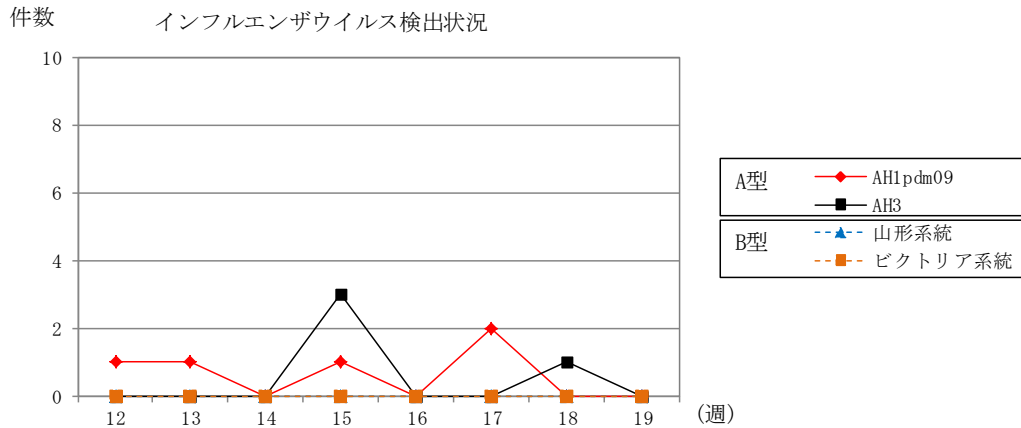
年齢区分別（人）

年齢区分	12	13	14	15	16	17	18	19
～5ヶ月	3	3	1					
～11ヶ月	6	5	7	4	4	3	3	2
1歳	24	21	13	8	12	11	2	1
2歳	43	28	17	12	8	7	1	3
3歳	26	22	18	12	7	11	1	1
4歳	38	17	17	13	3	9	2	7
5歳	42	17	16	9	11	6	2	2
6歳	36	17	8	13	14	12	2	
7歳	25	8	6	10	7	6	5	3
8歳	16	14	7	9	6	12	4	1
9歳	15	10	6	9	9	6	5	1
10～14歳	69	31	14	35	26	28	10	14
15～19歳	13	6	5	10	21	21	9	6
20～29歳	34	21	21	18	9	14	16	3
30～39歳	49	18	36	17	17	12	17	5
40～49歳	46	25	33	27	16	15	15	4
50～59歳	36	15	30	23	13	11	5	4
60～69歳	36	23	20	18	8	6	9	6
70～79歳	25	24	19	17	5	4	4	4
80歳以上	36	21	32	13	21	6	5	4

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2019							直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計	
		12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週			19週
提出検体数		1	1	0	4	0	3	1	0	8	67
A型	AH1pdm09	1	1		1		2			3	22
	AH3				3			1		4	41
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		1	1	0	4	0	2	1	0	7	63

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第16週～第19週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人	梅毒1人				
17	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人		梅毒1人 百日咳1人		レジオネラ症1人	
18	レジオネラ症2人					
19	侵襲性肺炎球菌感染症1人	梅毒1人				

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第16週～第19週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	2	1	4	2		
17		4	5		1	1
18						
19		2	2	1	1	

・第17週に八戸市保健所管内で結核3人の届出がありましたので追加しました。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第18週までの累計）

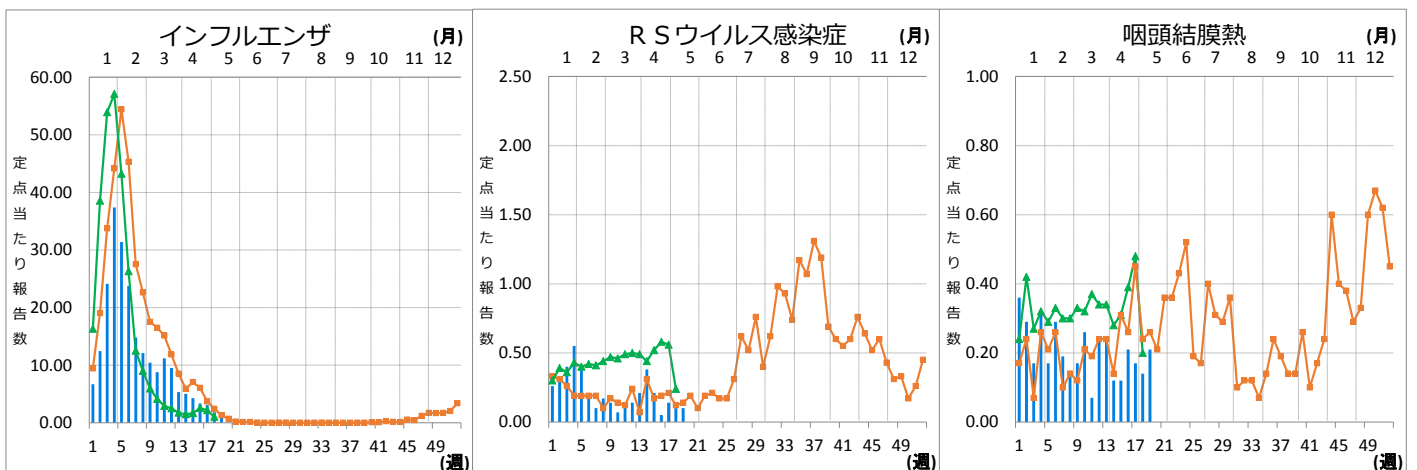
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	6752	2	30	350	13	9	164	156	3	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	1	14	2	48	99	16	1	1	12	436
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	3	298	103	613	18	380	6	51	317	379
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	12	214	19	1331	139	2	2052	48	22	28
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	5337	1434	467	12						

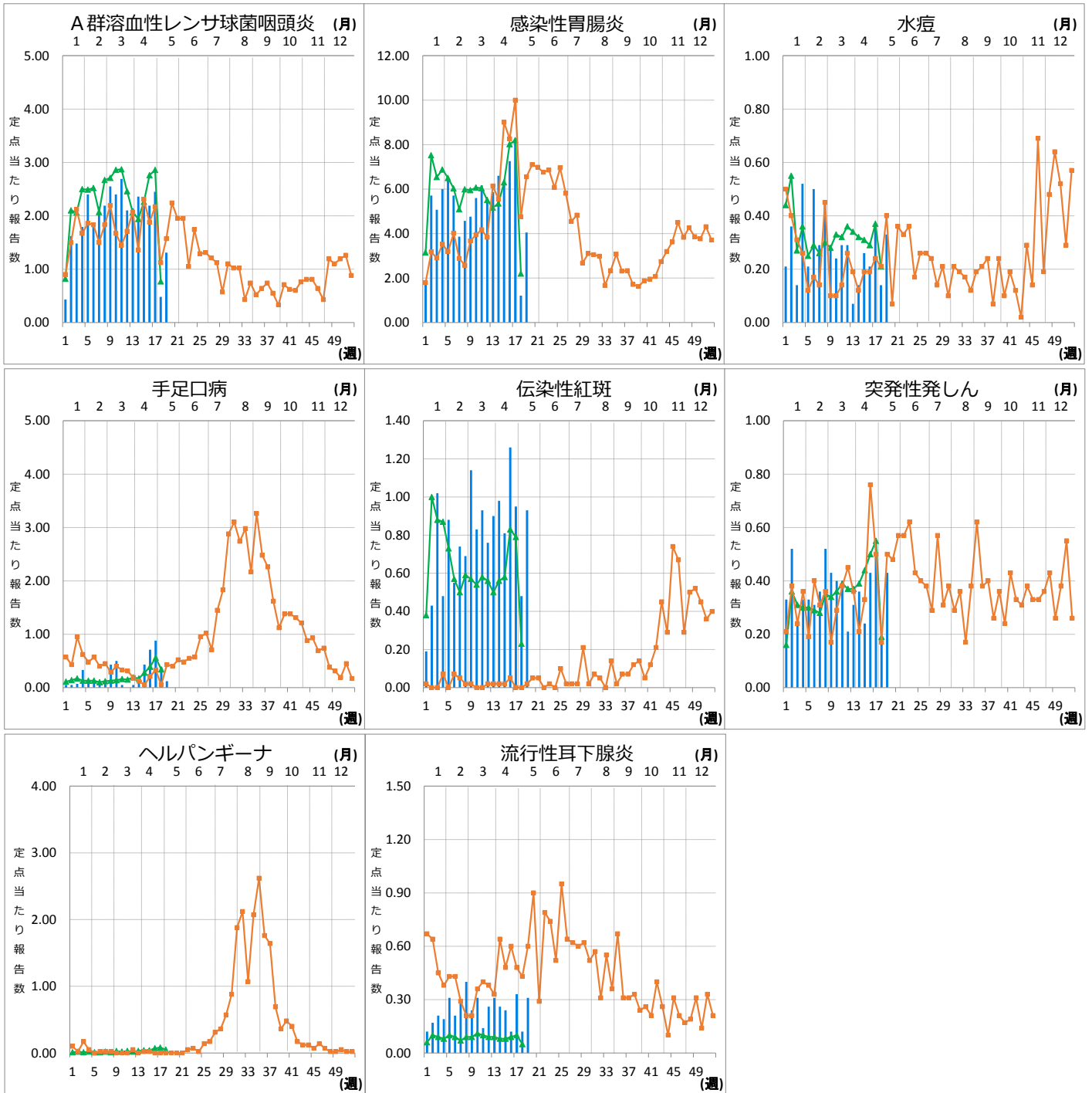
青森県（2019年第1週～第19週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	88	1	4	1	13	1	1	1	2	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳					
累積報告数	1	9	10	3	11					

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第19週、ただし全国は前週）

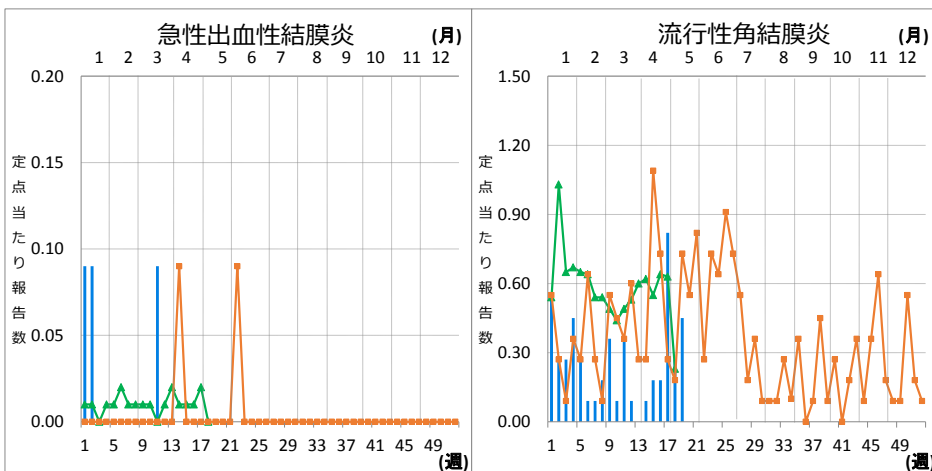
グラフの説明 ← 〇は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





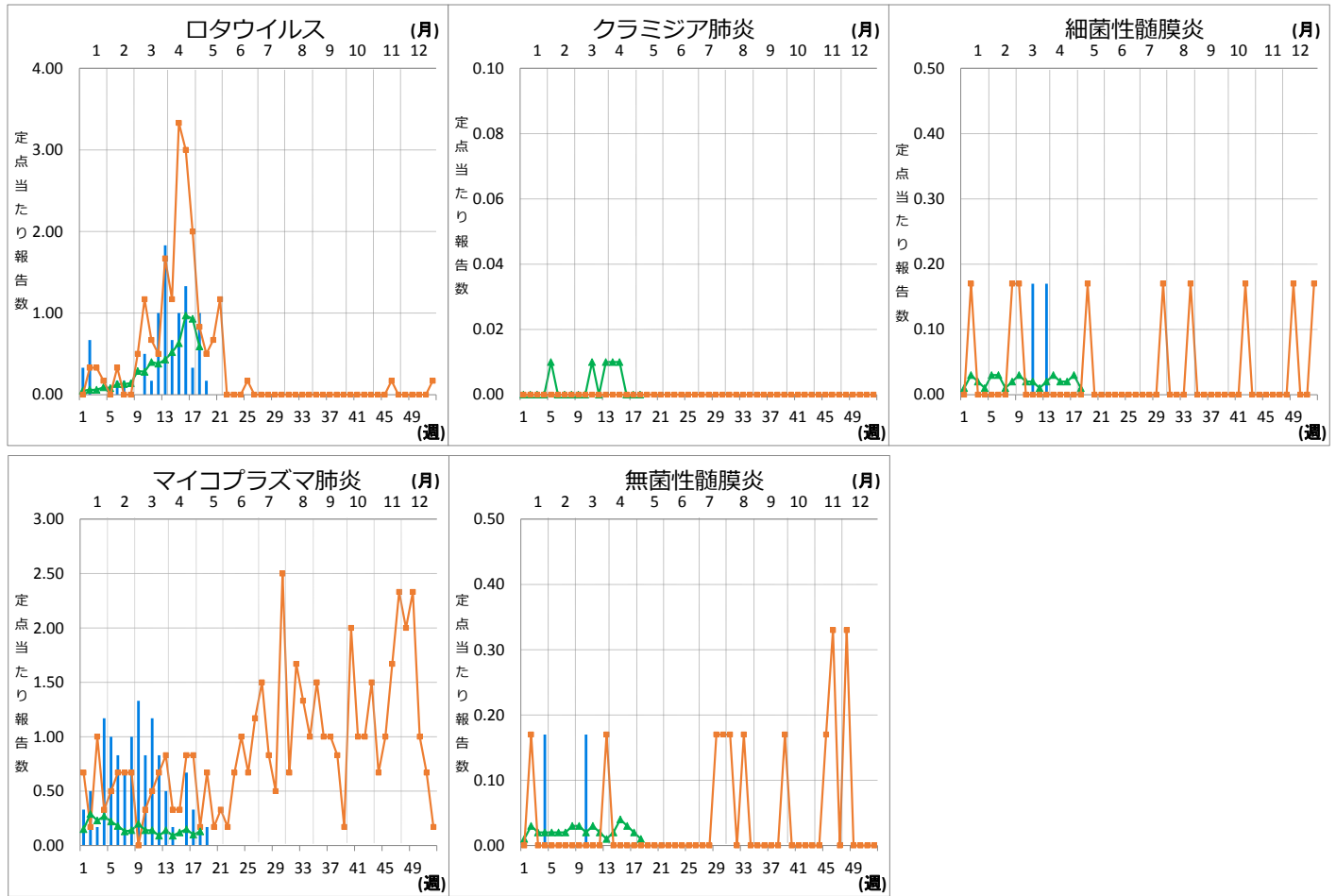
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第19週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第19週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18週	19週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	0	0	10
	発症者数	69	47	17	53	0	0	186
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	0	0	15
	発症者数	98	95	41	160	0	0	394